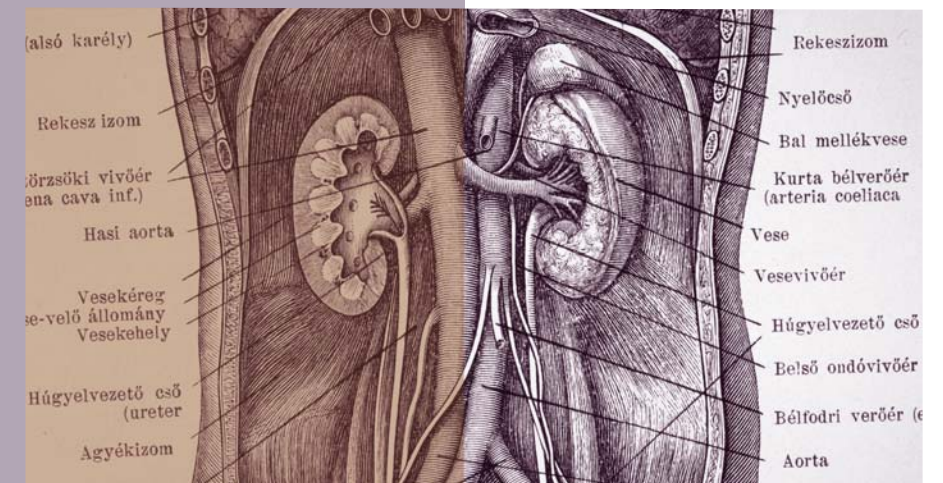


# QUARTERLY REPORT

vol.50  
OCT.2017

MANAGING OFFICE  
2-5-1, SHIKATA-CHO, KITA-KU  
OKAYAMA 700-8558 JAPAN  
PHONE:086-235-7023 FAX:086-235-7552  
<http://www.chushiganpro.jp/>



Mid-West Japan  
Cancer Professional Education Consortium

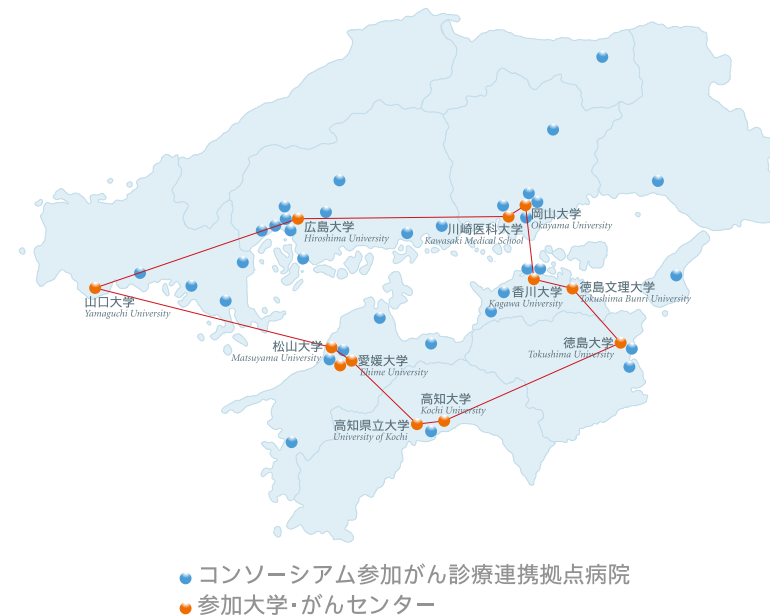
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム





## 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国地域に位置する11大学がコンソーシアムを形成し、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域の35のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。



## ごあいさつ

平成29年6月に、中国・四国地域の11大学が連携する「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトが文部科学省の「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」に採択されました。

本事業は、がん医療を取り巻く状況変化に伴い生まれる多様な新ニーズにも対応するがん専門医療人の人材育成を目的としております。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い高齢者医療、ゲノム医療、希少がん、小児／AYA世代がんへの対応は新たな重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。

本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

当コンソーシアム事務局では、講演会、国内外の施設への研修など、コンソーシアムの活動情報を広く発信することを目的としたクォーターリーレポートの発行を行っています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸甚に存じます。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
事務局

## ご挨拶

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 代表  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 教授  
藤原 俊義



この度、平成29年度「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」事業に、中国・四国地方の11大学が連携する「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトが採択されました。申請に際しまして、ご支援、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げますとともに、これから5年間、がん専門医療人の養成を目的に本事業を皆様と発展させていけることを嬉しく思っております。

本事業は、平成19年、8大学を結ぶ「中国・四国広域がんプロ養成プログラム」として、田中紀章先生を代表にスタートいたしました。その後、谷本光音先生が代表を引き継がれ、平成24年からは新たに10大学が連携する「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」として、がん医療の現場を支える多職種の人材教育や指導者育成に貢献してまいりました。今年度は、この第2期事業の最終評価も実施され、本コンソーシアムは総合評価で最高の「S評価」を獲得しました。学生・教員が一同に会するチーム医療合同演習やICTを活用したeラーニングなど、幅広く多彩な大学連携が評価されたものであり、今後の第3期事業を推進する上で、代表として大きな責任を感じ身の引き締まる思いであります。

現在、平成18年のがん対策基本法に始まるがん対策推進基本計画の見直しが見直され、新たな第3期がん対策推進基本計画案が公表されております。秋までには閣議決定が予定されておりますが、ゲノム医療の実用化、小児および希少がんに対するがん医療、さらにAYA (Adolescent and Young Adult) 世代や高齢者などのライフステージに応じたがん対策など、今後注力すべき方向性が示唆されています。

これからの5年間、参加いただきます皆様には、これらの新たな視点を加え、共通コアやeラーニングを共有するとともに、各大学の特徴を生かした魅力あるカリキュラムを推進いただきますようお願いいたします。皆様のさらなるご協力をご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

## コンソーシアムメンバーの紹介

松山大学大学院 医療薬学研究科長  
河瀬 雅美



平成29年度から「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」に新たに参加させていただくことになり、松山大学薬学部を代表して厚く御礼申し上げます。

松山大学薬学部医療薬学科(6年制、定員100名)は、平成18年に愛媛県で唯一の薬学分野における教育研究機関として開設され、これまでに6回の卒業生を送りだし、約450名の薬剤師が愛媛県内を中心に病院、調剤薬局の薬剤師として地域医療に貢献しています。また、本学大学院医療薬学研究科(4年制博士課程、定員3名)は、平成26年に開設され、社会人3名を含む大学院生6名が在籍しています。さらに、平成30年4月からは「がん専門薬剤師養成コース(4年間)」を開講し、医療チームの一員として薬学的専門知識を活用し、高度がん医療に貢献できる研究マインドを持った薬剤師を養成するために、がん薬物療法に関する教育・実践の場における研究活動を行っていきます。

がん医療の高度化は、がんに対する病因解析の分子レベルでの理解とそれに基づく創薬科学の発達が支えています。従って、最新のがん薬物治療を行うために、がんの病因や薬物の作用機序の高レベルでの理解に基づいた適切かつ最新の薬物治療法の選択と実践能力を備えたがん専門薬剤師の養成が必要です。また、がん患者にとって最善の医療は最新の医療を提供するだけでなく、患者の生活の質(QOL)を最良に保つ医療です。薬剤師にはチーム医療の一員として薬物治療の効果を最大化するだけでなく、その副作用や治療にかかる時間的・経済的負担が患者のQOLに及ぼす影響も鑑みて、治療を進めることが求められています。これは、今回の養成プランで新たなニーズとして取組・期待されている「ライフステージに応じたがん対策」として、その成果が求められている部分です。しかし、この領域は学部レベルの薬学教育では対応が追いつかない分野であり、大学院において実践的に学ぶ必要があるため、この分野の教育にも力を入れたいと考えています。

医療人として薬剤師が医師や看護師から本当に信頼されるためには、がん専門薬剤師や緩和薬物療法認定薬剤師などの資格あるいは化学(構造と活性)や体内動態などについての知識が医療現場で活かせる能力を持つことが必要です。医師や看護師からも「がん薬物治療においても、やはり薬剤師は化学に強いからだから、この面は薬剤師に任せるべきだ」と認めてもらえるような“博士薬剤師”を養成していきたいと思っております。

本年度9月から平成30年度新入生募集を行っていく予定です。ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

## Whole Person Care ワークショップ報告

岡山大学大学院 保健学研究科  
教授 松岡 順治



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムは、平成29年度文科省が公募した、「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」に応募し採択されました。今回の公募では「多様な新ニーズ」として「ゲノム医療」、「さまざまなライフステージのがん」、さらに「小児がん/AYA世代がん」、肉腫などに代表される「希少がん」があげられており、それらに対応するがん専門医療人材の養成が求められています。それと共に、われわれが従来2期10年に亘って醸成してきたがんプロフェッショナル養成プログラムを健全なかたちで継承することが求められています。中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムでは「全人的医療を行う高度がん専門医療人材養成」を掲げて今後5年間の活動を行います。今回「全人的医療」を掲げたのは、多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材は専門的医療の知識を有すると共に、全人的医療を行うことが特に必要であると考えたからであります。

「全人的医療」とは具体的にどのような医療を指すのでしょうか。「全人的医療」という言葉は我々医療人には馴染みが深い言葉ですが、それでは具体的にどのような医療を指すのかは判然としません。推進委員会からも、「全人的医療」というプラン全体のキーワードが、各大学での取り組みにどのように反映されるのか、また大学間での具体的な連携がどのように行われるのかをより明確にする必要がある、とのコメントを頂きました。中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムでは第2期がんプロにおいてカナダ、マギル大学のトム・ハッチンソン先生の「Whole Person Care」を取り入れたFD教育を行って参りました。推進委員会からのコメントにもあるように、今一度「全人的医療」に対するコンソーシアム全体での理解と合意を形成する必要があります。今回、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム前会長である岡山大学谷本光音名誉教授主催の日本臨床腫瘍学会の招きにより、トム・ハッチンソン先生が来日されま

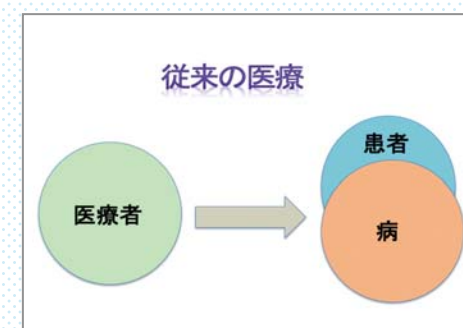
した。これを機会に、岡山大学にてトム先生によるワークショップを開催しました。



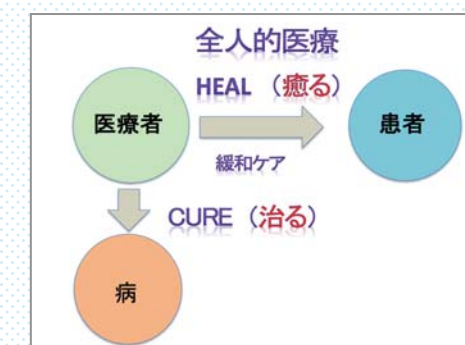
このワークショップは平成29年7月29日(土)岡山大学マスカットキューブにて開催されました。中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムにおいて大学院生教育にあたる教員および医療従事者が出席されました。ワークショップは、岡山大学医歯薬学総合研究科附属医療教育統合開発センターの三好智子助教、同研究科総合内科の小比賀美香子助教のファシリテートではじまり、「全人的医療」とは何かという命題についてトム・ハッチンソン先生の講義がありました。幸いなことに、マギル大学に留学し「全人的医療」を学んでこられた昭和大学横浜市北部病院の土屋静馬先生に講義のファシリテーター兼通訳として参加していただくことができました。講義はトム先生と参加者が対話する形式で行われました。各参加者は自分自身の体験と照らし合わせ、何が「全人的医療」であり、何が「全人的医療」でないかということを確認しながら進んでいきました。参加者の臨床経験に基づくディスカッションを通じて「全人的医療」の概要を明らかにしていくという大変スリリングな過程を体験することができました。3人の先生の流れるようなファシリテートにより、各参加者の心の中まで明らかにするようなワークショップでありました。

今回のワークショップでは通常の講義では得られない深い理解ができたのではないかと考えます。

トム先生のスライドを用いた講演の中では、「全人的医療」とはCUREとHEALを同時に行う医療であると定義されました。



従来の医療が患者と病を一体として捉え、治すことのみを目指してきました。これに対して「全人的医療」は病を治す試みをCUREとして捉え、患者に対してその病を自分自身で克服するHEALをうながす支援を同時に提供することが本質であるという考えであります。いわば従来の医療は病のみを見るSICK CAREであり、医療の本質はこれにHEALTH CAREを加えたものであると考えられます。われわれ医療人はヘルスケアの分野に関わっているのですが、この言葉のなかにもHEALTHという言葉が含まれているのが象徴的です。



ワークショップ終了後、トム先生は岡山の焼き鳥、ラーメンを堪能されました。さらに近頃練習を始めた剣道に触発され、瀬戸内市長船町の備前長船刀剣博物館を見学され、さらにご紹介したディーラーで600年前に作られた脇差を購入されるという得難い経験をされました。この脇差は大変気に入っており、毎日欠かさず手入れをしているというメールをいただきました。値段は奥様には内緒にしているとのことでした。トム先生は今後とも中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムの基本的理念としての「全人的医療」を全力で支援して下さることを約束してカナダに帰国されました。

今回のワークショップは、FD教育の一環として行われました。今回の果実をもとにコンソーシアム内の各大学院での「全人的医療」への学びが深まることを期待しています。今後はこのアウトカムを検討し、我々のプログラムそのものをさらに充実したものにしていきたいと考えています。



# 第9回チーム医療合同演習

テーマ:「高齢者がん医療」

日時:平成29年8月19日(土)  
会場:アークホテル岡山3階 牡丹の間  
参加者:51名

連携11大学より学生・教員が参加し、「高齢者がん医療」をテーマに第9回チーム医療合同演習を行いました。杏林大学医学部腫瘍内科学教室の長島文夫先生にお越しいただき、「老年腫瘍学の考え方とその実践に向けて」と題して特別講演を行っていただきました。その後、多職種が混在した6グループに分かれて2症例(「症例1:超高齢者の胃がん」、「症例2:高齢者の進行肺がん」)を討議し、グループ毎に討議内容の発表を行いました。ディスカッションを通して多職種連携の重要性、高齢者医療の難しさを再認識した、などの感想が聞かれました。



参加者内訳:

	医師	看護師	診療放射線技師	薬剤師	教員	合計
愛媛大学	1	0	0	0	2	3
岡山大学	11	1	5	0	6	23
香川大学	1	0	1	0	0	2
川崎医科大学	3	0	0	0	1	4
高知大学	1	0	0	0	1	2
高知県立大学	0	5	0	0	1	6
徳島大学	1	0	1	0	0	2
徳島文理大学	0	0	0	1	1	2
広島大学	1	0	0	0	0	1
松山大学	0	0	0	0	1	1
山口大学	4	0	0	0	1	5
計	23	6	7	1	14	51



## タイムテーブル

開始時刻	終了時刻	時間(分)	内容	
11:15	11:45	30	受付	資料や名札の配布 当日の打合せ
11:45	11:50	5	代表挨拶	開会の挨拶
11:50	12:50	60	特別講演	「老年腫瘍学の考え方とその実践に向けて」 杏林大学医学部腫瘍内科学教室 長島 文夫先生
12:50	13:50	60	休憩	
13:50	14:00	10	ワークショップ説明 アイスブレイク	ワークショップの流れなどを説明 各グループごとに自己紹介など
14:00	14:05	5	ワークショップⅠ 「症例1:超高齢者の胃がん」	本セッションの説明
14:05	14:45	40		各グループごとに討議
14:45	15:25	40		各グループごとに討議内容を発表
15:25	15:35	10		セッションのまとめ
15:35	15:45	10	休憩	
15:45	15:50	5	ワークショップⅡ 「症例2:高齢者の進行肺がん」	本セッションの説明
15:50	16:30	40		各グループごとに討議
16:30	17:10	40		各グループごとに討議内容を発表
17:10	17:20	10		セッションのまとめ
17:20	17:30	10	まとめと閉会の挨拶	本合同演習の総括・総評 出席証明書授与 閉会の挨拶
17:30	17:40	10	写真撮影	集合写真撮影



# 活動報告

徳島

## 臨床腫瘍・緩和地域医療学コース(インテンシブ) 第1回地域医療セミナー

テーマ:徳島市医師会とのがん診療連携 ～患者さんの安心のために～

日 時:平成29年7月20日(木) 19:00～20:35  
場 所:阿波観光ホテル 5階  
参加者:89名

総合司会:徳島大学病院 がん診療連携センター  
センター長 滝沢 宏光 先生

開会挨拶:徳島大学病院 がん診療連携センター  
がん診療連携・相談部門長 金山 博臣 先生  
徳島市医師会 会長 豊崎 纏 先生

ご挨拶:「徳島大学病院 がん診療連携センターについて」  
徳島大学病院 がん診療連携センター センター長 滝沢 宏光 先生



### 【第1部】

座長:徳島大学病院 がん診療連携センター がん診療連携・相談副部門長 鳥羽 博明 先生

#### 「ここまでできている肺がん薬物療法」

徳島大学病院 呼吸器・膠原病内科 准教授 後東 久嗣 先生

#### 「徳島大学における大腸がん最新治療について」

徳島大学病院 消化器・移植外科 助教 徳永 卓哉 先生

#### 「泌尿器がんに対するロボット支援手術」

徳島大学病院 泌尿器科 教授 金山 博臣 先生

### 【第2部】

座長:徳島市医師会 常任理事 豊田 健二 先生

#### 「徳島大学病院とのがん診療連携における緩和ケアの現状」

医療法人尽心会 亀井病院 副院長 濱尾 巧 先生

#### 「がん診療連携における在宅医の役割」

かさまつ在宅クリニック 院長 笠松 哲司 先生

#### 「緩和ケア病棟「ホスピス徳島」の役割」

近藤内科病院 緩和ケア病棟長 荒瀬 友子 先生

#### 「緩和ケアに関する地域連携カンファレンスについて」

徳島大学病院 緩和ケアセンターGM 看護師長 三木 幸代 様

閉会挨拶:徳島市医師会 副会長 宇都宮 正登 先生

### 終了報告

今回のセミナーは、徳島大学病院主催、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、徳島市医師会の共催のもと、徳島大学病院と徳島市のがん診療連携をさらに発展させるために開催された。徳島大学病院と徳島市の医師、看護師など医療従事者が参加し、がんの地域連携が深められた。次回は淡路市との連携セミナーを予定している。

徳島

## 第9回 中・四国放射線治療夏季セミナー

日 時:平成29年7月29日(土) 14:00～18:00  
平成29年7月30日(日) 9:00～12:00  
場 所:神石高原ホテル  
参加者:60名



### 【7月29日(土)】

開会挨拶:徳島大学 生島 仁史 先生

#### 「頭頸部がん」

座長:徳島大学 古谷 俊介 先生/講師:香川大学 高橋 重雄 先生

#### 「肺がん」

座長:香川大学 高橋 重雄 先生/講師:広島大学 土井 歆子 先生

#### 「子宮頸がん」

座長:広島大学 土井 歆子 先生/講師:鳥取大学 田原 誉敏 先生

#### 「前立腺がん」

座長:鳥取大学 田原 誉敏 先生/講師:川崎医科大学 神谷 伸彦 先生

#### 「高精度放射線治療」

座長:川崎医科大学 神谷 伸彦 先生/講師:山口大学 花澤 豪樹 先生

#### 「RI内用療法」

座長:山口大学 花澤 豪樹 先生/講師:愛媛大学 高田 紀子 先生

#### ■特別講演「小線源治療」

座長:徳島大学 生島 仁史 先生/講師:大阪医科大学 吉田 謙 先生

### 【7月30日(日)】

#### ■各施設の放射線治療部門の紹介

座長:徳島大学 古谷 俊介 先生、川中 崇 先生

愛媛大学 牧田 憲二 先生/岡山大学 片山 敬久 先生/香川大学 柴田 徹 先生/  
川崎医科大学 河田 裕二郎 先生/高知大学 刈谷 真爾 先生/島根大学 玉置 幸久 先生/  
徳島大学 久保 亜貴子 先生/鳥取大学 内田 伸恵 先生/広島大学 今野 伸樹 先生/  
山口大学 澁谷 景子 先生

優秀講演表彰と閉会の挨拶:徳島大学 生島 仁史 先生

### 終了報告

放射線腫瘍医、研修医、学生を対象として、2日間にわたる集中講義を行い、放射線治療に必要な基礎知識から最新の診療情報まで教示した。特別講演では大阪医科大学准教授の吉田謙先生を招聘して、密封小線源治療に関する基本的事項から最新技術まで含めた講義を行った。教育講演では、放射線治療の主な対象疾患の具体的治療法について解説した。学生や研修医にも理解しやすい内容であり、参加者全員が熱心に聴講していた。教室紹介では、各大学の診療や教育の現況を報告いただき、医学教育について討議した。今後、中国・四国地区の放射線腫瘍医育成のため、同様のセミナーを継続して開催する予定である。

## 徳島 がん栄養セミナー

日 時:平成29年7月29日(土) 16:15~17:45  
場 所:徳島大学蔵本キャンパス 基礎B棟1階 基礎第一講義室  
参加者:64名

### 「栄養学研究における論文の書き方」

徳島大学大学院 名誉教授  
社会福祉法人 健祥会 徳島健祥会福祉専門学校 校長  
武田 英二 先生



### 終了報告

がん患者の栄養アセスメントの問題について講義を行うとともに、栄養介入研究の実例と論文としてまとめる際の方法論について講義していただいた。

本がんプロのプログラムのみならず、がん病態栄養専門管理栄養士制度においても研究・論文発表の技術・能力の向上が課題となっている。本講演は、がん患者の栄養管理に関する臨床研究を進める上で重要な点を教授いただいた。

参加者からは「臨床現場で活躍する多くの管理栄養士にとって、臨床研究の実施および研究論文の執筆はハードルが高いと感じている。本講演を拝聴して研究や論文を出していくことの重要性が理解できた」という意見や「論文を書くためには、統計手法も含めて臨床研究の計画段階からの準備が重要であることが理解できた」という意見をいただいた。

## 岡山 第1回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:平成29年8月1日(火) 19:00~21:00  
場 所:岡山大学大学院保健学研究科 総合教育研究棟8F リフレッシュルーム  
参加者:8名

座長:岡山大学病院医療技術部 放射線部門 青山 英樹

「放射線治療品質管理基礎技術8(吸収線量の計測と評価)」  
岡山大学大学院保健学研究科 笈田 将皇

「当院の体幹部定位治療の紹介」  
川崎医科大学総合医療センター 放射線治療センター 山田 誠一

フリーディスカッション

### 終了報告

本セミナーは、インテンシブコースとして市内の関連病院や院内スタッフ・大学院生等を対象に海外の教科書(Physics of Radiation Therapy)や臨床現場の課題解決に向けたセミナーを企画している。今回のセミナー前半ではChapter8を中心に、吸収線量、計測量の定義、吸収線量の計算、計測理論などについて解説がなされました。セミナー後半は、川崎医科大学総合医療センターの山田誠一先生より、「当院の体幹部定位治療の紹介」と題して、自施設での運用に関する話題提供をして頂きました。大学院生、社会人の参加者ともに活発な議論がなされていました。

### 参加者から

今年度は開始時期が少し遅れていましたが、教科書を用いた系統立てられたセミナーだけでなく、臨床現場に応用されるテーマが企画されていました。現場の放射線治療に必要な物理計測や管理の知識は経験とともに覚えるものですが、日常では基礎や海外の情報などを得る機会が少なく、こうしたセミナーを通じて、系統立てて学べることは有意義だと考えます。ディスカッションで課題解決などに向けた考え方を学ぶことで、医学物理士試験など資格取得に向けた勉強と対策に有用ではないかと思いました。

## 11大学 第23回 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム協議会

日 時:平成29年8月3日(木) 13:00~  
場 所:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 記念会館2階 会議室

### 議 題

1. コンソーシアム規則の改正について
2. 第3期教育カリキュラムについて
3. 平成29年度各大学事業実施計画報告について
4. 平成29年度予算配分について
5. 平成29年度共同事業契約書について
6. 平成29年度チーム医療合同演習について
7. その他



## 香川 第19回 緩和医療に関する集中セミナーin香川

日 時:平成29年8月19日(土) 9:00~12:30  
場 所:高松国際ホテル 讃岐の間(本館2階)  
参加者:79名

「がん患者に対するリハビリテーションの実際  
～がん治療と医学的リハビリテーションの密接な関連性」  
千葉県立保健医療大学 健康科学部  
准教授 安部 能成 先生

「専門職のキャリア形成 ～特定行為研修受講に向けた体制づくり」  
香川大学医学部附属病院 看護管理室  
前看護部長 筒井 茂子 先生

「膵がん患者への関わり ～化学療法と症状マネジメント」  
香川大学医学部附属病院 腫瘍センター  
助教 奥山 浩之 先生

「がん緩和ケアのすすめ ～診療の味方につけよう! ガイドライン」  
香川大学医学部附属病院 腫瘍センター  
病院助教 村上 あきつ 先生



### 終了報告

がんのリハビリテーション、看護師の特定行為研修に向けた体制づくり、膵がん、がん緩和ケアのすすめ(ガイドライン)と多岐にわたる講演テーマで多職種の医療関係者に多数ご参加いただき、盛況のうちに終了した。特に、がんのリハビリテーションの講演では、多くの参加者が最新のリハビリ知識に触れ、患者さんとの関わりについて深く考える機会となった。

今回のセミナーでは、「がんのリハビリテーション」の講演があったためか、医師、看護師、薬剤師、栄養士のほかに、PT、OT、STなど多職種の医療スタッフにご参加いただけた。

参加者アンケート(回収率81%)では、「最新の情報を学び、見識が深まった。」との声が多く聞かれた。セミナーの総合評価としては、「満足57.8%、ほぼ満足37.5%」、合わせて95%以上の方が満足感を得られていることから、「今回のセミナーは成功」と言えると思われる。

# 参加大学

Consortium Member



**広島大学**  
Hiroshima University

がん専門医養成コース  
がん専門薬剤師養成コース  
がん看護高度実践看護師養成コース  
医学物理士養成コース  
● 離地区運営支援部学生支援グループ  
TEL:082-257-1538



**川崎医科大学**  
Kawasaki Medical School

がん専門医療人養成コース  
● 事務部教務課  
TEL:086-464-1012



**岡山大学**  
Okayama University

がん専門医養成コース  
● 医薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当  
TEL:086-235-7986  
がん専門職(がん専門・指導薬剤師、緩和薬療法認定薬剤師)養成コース  
● 医薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当  
TEL:086-251-7923  
高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース・医学物理コース  
● 医薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当  
TEL:086-251-7984



**山口大学**  
Yamaguchi University

外科系腫瘍専門医コース  
内科系腫瘍専門医コース  
放射線腫瘍専門医コース  
がん看護専門看護師養成コース  
● 医学部学務課大学院教務係がんプロ事務室  
TEL:0836-22-2055



**香川大学**  
Kagawa University

がんプロフェッショナル養成コース  
● 医学部学務課大学院入学試験係  
TEL:087-891-2075



**松山大学**  
Matsuyama University

がん専門薬剤師養成コース  
● 薬学部事務室  
TEL:089-926-7193



**徳島文理大学**  
Tokushima Bunri University

臨床腫瘍薬剤師コース  
● 香川キャンパス教育・研究支援グループ(がんプロ担当)  
TEL:087-899-7100



**愛媛大学**  
Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース  
● 医学部学務課大学院チーム  
TEL:089-960-5868



**徳島大学**  
Tokushima University

がん薬物療法専門医養成コース・臨床腫瘍放射線医学コース  
臨床腫瘍外科コース  
臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)  
● 蔵本事務部学務課第一教務係  
TEL:088-633-9649  
臨床腫瘍薬剤師コース  
● 蔵本事務部薬学部事務室学務係  
TEL:088-633-7247  
高度実践がん看護学コース・医学物理学コース  
● 蔵本事務部学務課第二教務係  
TEL:088-633-9009



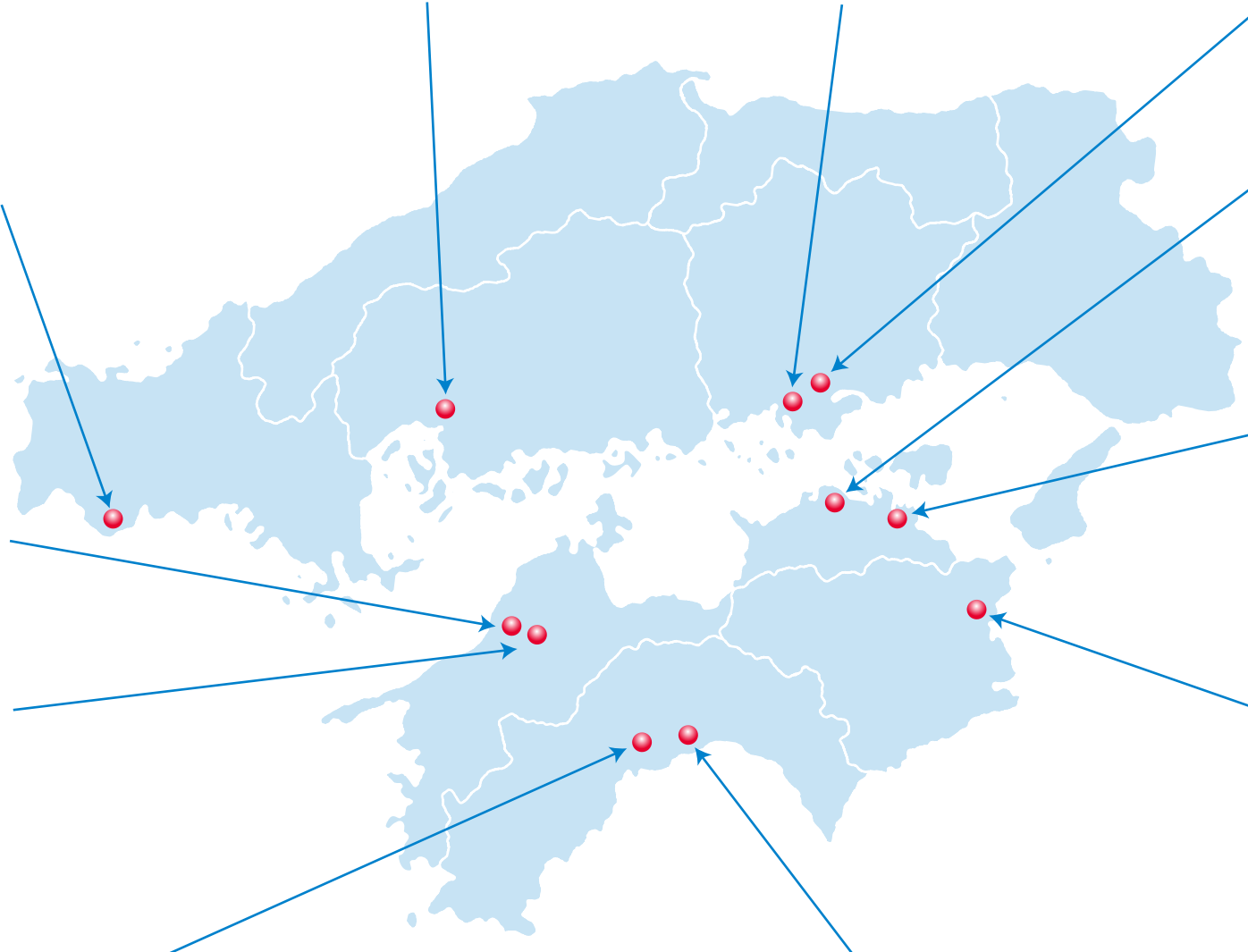
**高知県立大学**  
University of Kochi

APNコース  
● 教務支援部教育研究戦略課  
TEL:088-847-8815



**高知大学**  
Kochi University

がん専門医養成コース  
がん専門薬剤師コース  
● 医学部・病院事務部学生課大学院係  
TEL:088-880-2799



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.50

編集兼発行者  
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局  
TEL 086-235-7023 info@chushi.ganpro.jp

印刷所  
有限会社 ファーストプラン